

会 議 録

会議の名称		第4回（仮称）香取台地区小学校開校準備委員会		
開催日時		令和4年2月18日（金） 開会 18:30 閉会 20:50		
開催場所		つくば市役所 4階 ミーティング室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	堀越直子、堀田誉、中川元、眞家登志子、長岡かほり、鈴木由紀子、岩田隆敬、林将広、檜由美子、鈴木裕絵、田上和久、大竹伸一、杉崎妙子		
	その他			
	事務局	教育施設課課長補佐（兼）係長三井永達 教育施設課主事小池祐輝 学び推進課主任指導主事兼係長岡野晃生 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐東泉学、 学務課係長中山美希、学務課主任工藤麻貴、 学務課主事霜鳥壮彦		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 校名案のアンケート結果及び選定について (2) 校章案のデザイン募集結果及び制作について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 校名案のアンケート結果及び選定について (2) 校章案のデザイン募集結果及び制作について 3 その他			

4 閉 会

<審議内容>

1 開会

2 議事

事務局：お時間になりましたので、ただいまから第4回（仮称）香取台地区小学校開校準備委員会を開催させていただきます。事務局からお願いとなりますけれども、本日はオンライン会議システムの Zoom を使用しておりますため、会議中はカメラをオン、マイクはミュートにご設定いただき、ご発言いただく際には、ミュートを解除して、ご発言をお願いいたします。なおご発言いただく際には、名前をおっしゃっていただいてからご発言をお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長：はい。皆さんこんばんは。それでは会議の進行をさせていただきます。事務局へ確認となりますが、本日の傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：はいこちら事務局です。本日傍聴の方はいらっしゃいません。

委員長：はい、ありがとうございます。傍聴者はいらっしゃらないようですので、議事に入りたいと思います。本日の議事は、校名案のアンケート結果及び選定について、校章案のデザイン募集結果及び作成方法について、以上の2点になります。それでは議事に入ります。まず、配布している資料について、事務局より、それぞれ説明をいただきたいと思います。お願いいたします。

事務局：はい、事務局です。本日お配りさせていただいている資料は、資料1から4でございます。まず資料1につきましては、これまで送らせていただい

た通り校名案校章案の選定のスケジュールの案になっております。資料の右上に2と書いてあるものにつきましては、先日、行われました校名案アンケートの結果をまとめたものになります。続いて、資料3-1から3-4につきましてはこちらも2月10日から15日に実施しました校章案のデザイン募集の結果を、校名案別に整理をして、まとめさせていただいたものになります。最後に資料4の方につきましては、先日の委員会の中で、画面共有をさせていただいて、その後、委員の皆様にもメールの方でお送りさせていただいたデザイン制作に関する資料でございます。一旦こちらの資料の説明は以上になります。

委員長：はい、ありがとうございました。皆さん資料のご準備大丈夫でしょうか。ありがとうございます。はい、それではですね校章案デザイン、ごめんなさい、間違えました。申し訳ございません、間違ってしまった。校名案アンケート結果及び選定につきまして、皆さんですね、資料の2を見ていただきまして、香取台小学校が50%ということで、票率が非常に高い率で参りました。つくば万博小学校が続いて、続いておりまして19%ということで、パーセンテージになっておりますけれども、えっと、この件に関しまして、それに内々から上がってきている中では第1、一番多い票で校名案は決めていくのはどうでしょうかということがありました。この辺について、協議していければと思います。皆さんから何かご意見等お考え等ありましたら、挙手をお願いできますでしょうか。あとすいません、私の方からですね今日欠席いただいております委員からの事前のですね、お考えということで皆様のスラックの方で共有いただいているかと思っております。ただ今回この準備委員会におきまして、ご発言ということで、私の方で代わりにご意見等ですね、述べさせていただきたいと思っております。では、アンケート結果で1位の校名に決定する理由としては、それ以外にする理由がつかないということで、お考えをいただいております。また、アンケート結果1

位の校名案で決定するという同じお考えをいただいております、仮に1票差だった場合ということであるんですけども、上位に関しましての1票差がございませんので、ここはすいません割愛させていただければと思います。ということで、続いて皆さんからのご意見等ということで、まあね、やっぱり1位でもう決めていく流れでよろしいかという、手を挙げていただいております。では、お名前をおっしゃっていただいております。お願いいたします。

委員：一つだけ。多分事務局に質問があるんですけど、過去に1位じゃない、前にも伺ったような気がするんですけどちょっと覚えてないので、1位じゃない校名に決めた前例っていうのはあるのでしょうか。

事務局：事務局です。今のご質問なんですけれども、過去の学園の森とみどりのにつきましても、基本的に最多得票を得た学校名の中から最終的には選定という形になっておりますので、それ以外のところから選定をしたという事例はございません。以上です。

委員：わかりました。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございます。はい、えっと他にですね、何かお聞きしたいこととか、やっぱりその決定に向けてとなると本当に、何か皆さん何でにこやか、大丈夫ですか。何か楽しそう。聞こえてますか、何か大丈夫かな。ありがとうございます。そうそうそう、ありますけれどもやっぱりこの後決定となると非常に重い役割にもなるっていうのは、本当にそう思うんですね。なので、そこに決定に向けて、何かこうだったらこうだったのかなっていうものが残ってしまうと、その決定に向けて決断する私たちのその役割とか責任っていうものも、どうなのかなと思いますので、もう皆さんが本当にご理解いただいた上で決めていければと思いますので、もう本当にどのようなことでもいいと思います。で、間もなく校名についてはこれで協議も終わりになっていくわけなので、大丈夫ですか。そうすると、この

後じゃあ挙手というか、この香取台小学校でよろしい方っていう流れで、進めさせていただいてよろしいのでしょうか。うなずいていただいている方ありがとうございます。なんか複雑だな。いきますね。はい。じゃあこの後、挙手を取らせていただきます。校名案ですけれども、票数 300 票率が 50%ということで、こちらの香取台小学校にはい、決めさせていただく形でよろしいと思われる方は挙手をお願いいたします。ありがとうございます。では全員一致ということで確認させていただきましたので、校名案、この委員会においては香取台小学校ということで、はい、決めさせていただけたらと思います。皆さんご協力ありがとうございました。はい、では続きまして、校章案のデザイン募集結果及び制作なんですけれども、本当にありがたいことにいろいろな案、校章案のはい、デザインが皆さん上がってきて、何かやっぱり発想ってすごいなって感じたんですけれども、香取台小学校ということに校名案が今決まりまして、校名案のところの香取台小の校章案だけ見ていきますと、他のちょっと名前のところメインのところの校章で上がってきたデザインにもすごくいいものがあると思うんですね。そういったことを踏まえて、どのような形でっていうことで、副委員長すいません、副委員長聞こえますか。このデザイン上がってきたものについての、はい、全部を踏まえて、うん、受けたらいいとかっていうご意見あるかと思うんですね。そちらをご発言いただいてよろしいですか。ごめんなさい突然振ってしまって。

副委員長：私の意見ですか。

委員長：うん、うん、上がってきたものだけじゃなくて、校章案全体を見てもらいたいっていうお考えありましたよね。それを言っていただいてよろしいですか。

副委員長：はい。今回出していただいたデザインに関してなんですけど、校名案が決定はされて香取台になりました。ただ、例えば万博であったりとか、

あとデザインに関してなんですけど、デザイナーの方に広く全体的に俯瞰していただいて相対的なものを抽出していただくのがいいのかなっていうのが個人的な意見です。で、もう一つが、今回廃案になった校名案の10項目ぐらいあったかと思うんですけど、その選定されてない部分に関しても、踏まえるのが一つ私のアイディアとしてあるので皆さんにお伺いを聞きたいなと思ってます。私としてはデザイナーの方に、廃案になった校名案も何でしょう、デザインの中に含まれるような流れを汲んでもいいんじゃないかなっていうのが個人的な意見であります。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。このようなことを踏まえまして、はい、この後なんですけども、事務局より募集結果、資料3ですね資料3皆さんご準備をお願いいたします。についてご説明お願いしたいと思います。また、そこにえっと、委員からご質問等ございましたら、適宜事務局より回答いただくような流れで進めて参りたいと思います。先ほどご発言いただいたことをちょっと踏まえて、皆さんも何かご質問等お考えいただけたらと思います。ではすいません、事務局お願いいたします。

事務局：はい、事務局ですけど、資料3-1から3-5で各校名案別に今回整理をさせていただきました。他に新入学児童、小学校1年生から3年生、4年生から9年生、保護者という形で、校名案の中でもそういった形で振り分けをさせていただいております。各デザインの詳細な説明の方は控えさせていただきますけれども、校章のデザインは原則的には、他者の著作権ですとかそういったところの侵害がないようにすべきではないかなというところがございます。例えばなんですけれども、この香取台小学校で言いますと、1年生から3年生の応募であったんですけども、43番のところですかね、こういったところはおそらくですけども、多分万博記念公園駅前にある岡本太郎さんのモニュメント等イメージして作られたのかなと思うんですけども、こういった確かにこのモニュメントを模したものは

他でも結構出てきておりました、こういった著作権とかそういった形のところからの部分については、慎重に見ていく必要があるかなというところがございます。今回児童含め、保護者も含め本当にたくさんの応募をいただいて本当にありがたいと思っております。今回最後にこちらの方から報告させていただく事項としては、今回児童の保護者の方からですね、二名ほどこの校章案のデザイン制作に協力してくださるといの方が手を挙げていただきましたので、報告をさせていただきます。事務局からの説明は以上となります。

委員長：はい、ありがとうございます。ここで皆様からここまでの説明におきまして、ご質問等ございますでしょうか。先ほど副委員長に、すいません、ご発言いただきましたのは、今の事務局からありましたご用意いただきましたこの資料ですね、これらすべてを踏まえて副委員長は、デザイナーの方に全部お渡しをして、ここを全部香取台小学校という校章案を作る参考に、はい、していただけたらどうなのではないでしょうかというものだったんですね。ごめんなさい、事務局の前に副委員長にちょっとお願いしてしまったので、はい。

委員：先ほどの意見、全部を見てその中からデザイナーの方に見ていただいて、良いデザインを選んでいくっていう案には賛成です。なぜかというと、他の香取台小学校の案以外でもそのパーツとしては、例えば筑波山がモチーフになっていたりだとか或いはふくろうだとか、先ほど著作権の問題があるとされましたけど岡本太郎さんのモニュメントにしても、このアイデアがあったかと私も見て思ったぐらいなんで、そういったものも含めてパーツを選んでいくっていう方が、より良いものができるかなと思います。あと一つ、事務局に質問なんですけど、厳密に結局著作権を持たれてる方の判断なのかもしれませんが、例えば岡本太郎さんのモニュメントみたいなのをデフォルメして字とかそういう感じにするのとかでも著作権には

やっぱり触れるんでしょうか。

事務局：はい、事務局です。現段階でちょっと今こちらの方でもまだなかなか調べきれてないんですけれども、もし著作権に当たるとするとその著作権を持ってらっしゃる方とのご相談といたしますか、そこでの調整という形になってくるかなと思います。以上になります。

委員：はい、わかりました。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございました。続いてどなたかございますか。はい、お願いいたします。

委員：事務局に質問なんですけれども、デザイナーが二名手を挙げていただいたということなんですけど、やり方例えば全部をお渡しして2名両方の方にいくつかずつ選んで描いてきていただいて、その中から最終的に一つ選ぶというようなやり方でしょうか。

事務局：はい、事務局です。聞こえますか。前回決め方として3番っていうのもっていうことでお話があったと思いますので、今2人の方が手を挙げていただいている状況ですので、その方に2、3点作ってきていただいて、できたものから選ぶのか、3番でしたので、この今のお手元の資料の中から、これだけはその候補として挙げといて、そこにこのお2人が作ってきたものを入れるかっていうこと、まずあるのかなと思うんですけれども。その辺まず、どういうふうに、3番なのか2番なのかっていうのがまだ決まってない状況下もあると思いますので、そこを含めてデザイナーさんには例えば何点作ってもらうということも、考えなきゃいけないのかなと思います。

委員：デザイナーさんどちらかにだけ頼むのではなくて、2人ともに頼むということ。

事務局：はい、お二方やっていただけるっていうことで協力の形のご報告をいただいておりますので、お二方にやっていただく方がよろしいのかなと思いま

すが。

委員：はい、わかりました。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございました。はい、それではですね、今のご質問、事務局からの回答にもありました、前回、最後のところで終わって、今回の委員会でのということの形で終わっていたところがあると思うんですね。資料4に入っていきたいと思います。よろしいでしょうか。校章案のデザイン作成についてということでの部分におきましてです。今ありました、資料4のところの③っていう部分が、前回ちょっと最終的にはまず、今回の委員会のところで決めましょうというところだったと思います。で、今ありましたそのデザイナーがですね、保護者の方から二名上がっているということで、前回はこの方二名ともお願いして、先ほど事務局からもあったように案を考えてきていただいた中から選んでいく流れでいきたいと思います。なので、ここに関して皆さん日程の方いかがですか。この流れで大丈夫でしょうか。今事務局からの回答があった流れということでよろしいですという方、挙手をお願いいたします。全員大丈夫。はい、ありがとうございます。そのような形で、今回この資料3、保護者と児童から上がってきた校章案も含めてお渡しをして、さらにデザイナーの方に考えていただくような形で進めていければと思います。

副委員長：すいません、もし発言してよければ手を挙げたいんですが。よろしいですか。

委員長：はい、はい。ごめんなさい。ちょっとその前にごめんなさい。私の説明不足を話させてもらってよろしいですか。ごめんなさい。ありがとうございます。はい、すいません。資料4の①を見ていただいてよろしいでしょうか。今回応募いただきましたこちらの資料3なんですけども、こちらから委員の中で、今①ですね、数点絞り込んだものをそのデザイナーさんの方に絞り込んでお渡ししていくのか、それともこのまま資料3すべてをそ

のままそっくりお渡ししてよろしいのか、という部分を皆さんからのお考えをまとめていければと思います。ここちょっとごめんなさい、抜けてしまいました。副委員長ごめんなさい、お待たせいたしております。先ほど手挙げていただきました。先にすいません、どうぞ。

副委員長：すいません、今のちょっとご説明に少し関連してたんですけど、応募者のデザインの中から選定しとかいろいろやり方これからあるんですけど、今回はそのデザイナーさんが例えばデザインしたかとかはあまり知らない方がいいでしょうかね。デザイナーさん個人のお名前もまだ今ご共有されてないと思うんで、その意図的にもしかして共有すると何か我々の私意が働くからってことでご共有されてないのかもしれないですし、そのデザイナーさんがこの中でどれをデザインされた方なのかっていうのも知らない方がいいのか悪いのか、ただ市の職員さんならどなたかがデザイナーさんにコミュニケーションされる際にそのデザインをどういう前提でその方に持っておいてもらうのか、そのデザインはもう除外されてますなのか、何か説明の仕方が難しくなるのかなと思ってるんですけど。頼まれるんだけど、あなたの作ったデザインは案としては一旦置いておいてみたいかな話になるのか、それをベースにこれらのものをそこに付随してくださいみたいな仕方になるのか、結構その前提の置き方が難しいご説明になるのかなと思ったんで。ちょっと以前のやり方等も踏まえて教えていただけると助かります。

委員長：はい、ありがとうございます。はい。事務局から回答させていただきます。事務局お願いいたします。

事務局：事務局です。今回お話しさせていただいた通り二名の方がお手を挙げていただいておりますが、それはこちらにもまだ用紙を回収した段階でしかお分かりしてない部分で、その用紙自体にお名前の公表等っていうことはまだ書いてませんので、これからそのお2人の方にコミュニケーション

をとって、お名前とか公表するってことがどうするかってのはご本人さんと相談したいなど。学森のときには、名前をお出ししたりできますけどどうしますか、ご協力していただいたのでってお話をした時に、いやそのままでもいいですってということもありましたので、お2人の方とコミュニケーションを取りながら公表とかどうかっていうことをお伝えしたいなど。ご本人さんのどれを応募してるかっていうのはその方の考えをちょっと公表するのかなと思いますので、それはちょっと難しい部分があるのかななど。今後につきましては、今先ほどのお話で、資料3-1の部品だけお渡しするのか、もう3-5まで含めた資料全部お渡しするかっていうのを再度確認していただいて、上がってきたもの全部っていうことであれば、皆さんの総意としてこの中から何点か作って欲しいということをお願いしたいんですけどっていうお話になるかなと思います。説明については、今後のこの部品取りのやり方についてももう少し決めていただいてからかなと思ってます。以上です。

委員長：よろしいでしょうか。

副委員長：はい、ありがとうございました。

委員長：はい、ありがとうございました。すいません、私からちょっと続き、続いてなんですけども、先ほどのごめんなさい、説明に関してのちょっとすいません、補足になります。資料4になるんですけども、また①のところで、ちょっと私の説明がですね、申し訳ございません。ちょっと違ってまして。まずこの委員会、準備委員会の私たちの中でこのですね、今回上がってきましたこのデザイン募集結果の中で、例えば資料3-1の例えば⑮みたいなものがこのまま例えば残していきたいんですけども、ここにそのデザイナーさんの方にちょっとこう補正とかお願いしたいですね、これを一つ決めたらいいですかっていう部分、それと同時にデザイナーさんの方には2、3点、デザイナーさんそのものがデザインをしてくるものを

2、3点作っていただくという部分、それかもう本当に丸つきし、先ほどだからこれは

最初に言っていたいただいたものですね、このまま全部そっくり渡して、ここからパーツパーツを例えば選んでいただくなりしてのデザイナーさんが全部、2、3点決めていただくかっていう部分を皆さんのここでお考えをまとめていけたらと思うんですけれども。この件に関して、何かお考えいただける方はいらっしゃいますか。まずこの準備委員の中で。ちなみに皆さんの中で、この何かこれなんか止まりましたみたいなものってあるんですかね、見ていただいて。これすごいですね、ここへ生かしていけたらみたいなものってありました。何か皆さん表情が皆さん、校名のときと丸つきりき何かが違う。すみません。はい、お願いいたします。名前をおっしゃってからお願いいたします。お声が聞こえませんか。でもミュート外してますね。あれ皆さん、委員のお声聞こえますか。はい。ありがとうございます。笑顔は伝わってます。チャットはということ、とりあえず皆さんチャットを打っていただいて、長い、無理、オーケー、はい。今の現象は何が起きてると思われませんか。

委員：もしかしたら、ログインし直してもらった方がいいかもしれないですね。やっぱ最初のログインの時のオーディオ設定の違いかな。

委員長：ありがとうございます。それじゃあすいません今、SOSを求めたところ、いなくなってるし。ではすいません、ちょっと待ちますね。お気持ちすごいわかります、私経験者。

委員：副委員長世代がわかるコメントしてますね。

委員長：手を挙げていただいてありがとうございます。どうぞ。

委員：この待ちの間にちょっと一つだけ事務局に質問なんですけど。いただいたデザインの中で所々赤字の数字が書いてあるのがあるんですけど、これはどういう意味でしょうか。

事務局：すいません、こちらの方今日差し替えのものとしてお送りさせていただいたものなんですけど、その中で今日 15 通ほど到着しまして、昨日お送りしたものに今日入ってきたものを追加したものを赤字で入れさせていただいております。そういった内容になります。今日到着したものになります。

委員：はい、わかりました。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございます。今お声が聞こえました、どうぞ。

委員：すいません、ご迷惑をおかけしました。はい。すいません。校章案なんですけれど、私の考えとしては、やはりこの委員の中で取捨選択をしてしまうと、やっぱり公平性が保てないなっていう思いがありますので、委員の中でこれが目を引くっていうのがあるかもしれないですけど、それは言わずに、なんですかね全部をやはりデザイナーさんをお願いして、その中からやはりすべての中から取捨選択して作っていただく方がいいのかなと思いました。以上です。

委員長：ありがとうございます。はい。えっと、ここで他に、他にですね、ございますか。もし、ありますか。ありませんでしたら、先ほどの委員の、はい、全部お渡ししてということではありますが、最終的にそれを全部ね、お渡ししてデザイナーの方に、先ほどから繰り返してますけど 2 点 3 点作っていただくっていう部分なんですけども、一応この準備委員会からの中で、このちょっと見ていただきますと、そのパーツの共通点として例えばお花とかがすごく多かったりっていう部分、その部分を例えばこう使っていただいて、お花の部分もちょっと使っていただいたのデザインを考えていただけますとか、何かそのデザイナーさんにこのまま全部お渡しをしてお願いますっていうやり方も一つあると思うんですけども、そこに私たち準備委員の希望というかご意見も乗せさせていただいて別に 1 点、それから委員が言われる通りそのまま公平、公平性に欠ける、ちょっとごめ

んなさい。ちょっとごめんなさい、私の説明がちょっと不足しております、事務局からちょっと説明していただければと思いますので、一旦ちょっと事務局にかかわらせていただきますね。その上でちょっとお考えいただいて、またちょっとご意見等踏まえたらと思いますので、ちょっとすいません、お聞きいただければと思います。事務局お願いいたします。ごめんなさい。

事務局：はい、事務局です。よろしいですか。前回から選択の中でまだ3番っていう形に残ってたと思いますので、1番っていうものもやり方がまだ残ってると思うんですね。今回皆さんに決めていただきたいのは、例えば、資料3-1の児童4年生から6年生の応募というものの中で、①番、よろしいですか、①番のデザイン。このデザインはある程度形ができてると思われた場合に、これはこれで一つ残したほうがいいかなって思われるのか、それと、残すっていうことをこういったように、こういうデザインは全部残さないで丸っきり全部部品すべてをお願いして作ってきてもらうのかっていうのが、3番の中でどうなのかなと思うんですね。2番っていうのは完全に今まだ聞いてると、部品を全部お渡ししてお願いするパターンですので、①についてはこの中から何個かを残してアンケートの対象として、プラス、デザイナーさんにこれを渡して部品として作ってきてもらったのをお願いする形なので、デザイナーさんに例えば3点作ってきてくださいっていうことをお願いすると、お2人なので6点でき上がってきます。そのあと、ほかにこの資料の中からデザインをそのままアンケートに2つ3つ回すようになれば、3つですとデザイナーさん6個とここで3つ上がりますので9点の中からもう一度皆さんにアンケートをとってもらっていう形にするか、1番っていうのがそれになりますので、まるっきりこの中から何個かを残すっていうことがなければ、もう部品これを全部お渡ししてデザイナーさんに3点作ってきてもらった6点の中でアンケートを取る

ってというのが②になりますので、どのような形に今されるかっていうのが決めていただくことが必要かなと思いますのでよろしくお願いします。

委員長：事務局ありがとうございました。はい、今説明いただいた形なんですけども、当初ごめんなさい、私の方の説明が多分皆さんにうまく伝わらないのちょっと違っていた部分もあったかと思います。ちょっとフォローいただきました。今事務局の説明を聞いた上でこの制作についていかが思われますでしょうか。もし手を挙げていただいて挙手いただいても、うん、結構ですので、何かおありの方は。ありがとうございます。

委員：質問なんですけど、①の場合にもその選択肢は今日決めなきゃいけないんですか。なぜ聞いているかという、そのデザイナーさんには全部渡してそれぞれ3つ作ってきてくださいなんだと思うんですけど、我々の中で今日これを3つ絞り込むってなかなかかなり難しいような気がするんですけど。だとすると、デザイナーと我々の絞り込みが並行してできるのであれば、もう少し考える時間があるのかなと思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。すいません、事務局より回答させていただきます。

事務局：事務局です。資料1の方見ていただくと、スケジュールについて皆さんにお渡しさせていただいてると思いますが、今後はデザイン化の後に再度アンケートの実施がありますのでそのアンケートに関する調整ってのが3月11日ですので、その前までに皆さんに大体考えをまとめていただいて11日に決めるということが可能かとは思いますが。ただし、今お話の3点っていう選ぶ場合、残すのがこの中からそのまま残すってのは、3点とか何かかってまだ決まってませんので、それとデザイナーさんに何点を頼むかによってそのアンケートの対象となる総数が変わってくると思いますので、その辺も含めた形を考えていただいた方がいいのかなと。今回デザイナーさんに3つと頼めば出たのは当然2人なんで6点ですから、そこに今度は

この中から残すのか残さないのか。残すとなれば、3点であれば総数が9点になりますし、4点であれば10点っていう中から再度アンケートをお願いする形になりますので、その辺は11日の前までに考えをまとめていただいて11日に残す残さない、残す場合の数が出ていうのをやっていただかないとちょっとアンケートが今度実施できなくなってしまうので、その頃までかなと思います、以上です。

委員長：今のご説明で大丈夫ですか。

委員：そういう選択も可能だけれどリスクはあるということだと認識しました。

3月11日に我々が委員会として案が絞り込めない場合に難しいことになる、ないしはデザイナーの案だけでいかざるをえなくなると。あと今日こう見た中で、そのままパッとアンケートに出せるというほどの完成度のものが必ずしもそんなになくていいんだけど、やっぱり少しもうちょっと綺麗にしなきゃいけないとか手直ししなきゃいけないっていうのがほとんどかなというふうに思うので、それを本来であればそれもそういったのもデザイナーさんに少し手を入れてもらった方が綺麗な出来栄えのものがアンケートに回せるかなと思います。

委員長：ありがとうございます。はい、そうですね後ちょっと皆さん考えて今いただいているのか、ちょっとごめんなさい。はい、委員どうぞ。

委員：すみません。ちょっと根本的になんですけど、ちょっと委員の中でいくつか選んだものプラスみたいな形になると、さっき公平性って言ったのは、やっぱり自分の子供が出したものとか自分たちが出したものにやっぱり思い入れがあるので、どうしても何かそこに意見に偏りが出てしまうっていうところがあると思うんですけど。なのでそういうことを考えると、いくつか委員の中でその数点を絞り込むっていう作業はやっぱり何か難しいのかなっていう思いがちょっとしてきてしまっ。であれば、2でしたっけ、デザイナーさんに全部お渡しして一任するっていう案でも、もうい

いんじゃないかなっていう気がしてきました。以上です。

事務局：事務局です。補足いたします。先ほどの質問の中で、3月11日までというお話をさせていただいたんですが、それは、ここにあるものをそのままそっくり残してアンケートの候補とする場合でありまして、先ほどの例えば15番っていうもの、1番ですね4年生から6年生のデザイン1番にデザイナーさんにちょっと何か付け加え、それも残してそこに手付け加えてくださいっていうことになると、今日ここで候補を決めていただかないと部品と同じようにデザイナーさんをお願いすることができないので、そこはちょっとデザイナーさんに付け加えをお願いするってことがあれば、今日のお話があって難しいかなっていう部分もあると思うんですけども、その辺を踏まえて皆さんでお話し合いをしていただくことになると思います。

委員長：すみません、今日欠席いただいている委員からの校章案について、皆さんの中では共有されておりますけども、準備委員会の中で私の方で、はい、えっと、話させていただければと思います。まず、お一方は募集するの③で、理由としてはいろいろな可能性があるかなということだと思います。はい、そしてもうお一方ですね。同じく募集するの③でということこの辺は全員が一致してるのかなと思います。で、お一人の方に関しましてその理由としましては、島名、香取台、万博は、校名案候補の5つの中でかぶっている部分もあるので、校名案で選ばれなかった校章案だとしてもパーツの一部として選べるのがいいと思います、ということで、はい、いただてるかと思います。先ほど事務局からも補足という部分でありましたけれども、いかがでしょうね。なかなかやっぱ難しいちょっとあれなんですか。

委員：いいですか。

委員長：もちろんお願いいたします。

委員：はい。先ほどの事務局の話をやっぱり伺うと、11日の時にある程度デザインなのかな、デザイン案としては整っている必要があるんだと思うので、今の段階で決めて、9割方ねこれをベースにしながらも①だったとしても少しく手直ししてもらって、同じテイストでアンケートに載ってないと多分いいアンケートにならないんだと思うんですよね。なのでまず、今日中に決定しなきゃいけないんだなっていうことは私なりに理解はしています。で、②は必ず入れるとして、②か②+①なのかって話なんですけれども、まず私に選びようがないっていうのがあります。その前提で聞いて欲しいんですけども、なので、まあね、ここにいる全員がこうこれは絶対いいよねっていうのがあればね、①として入れといてもいいんだと思うんですけれども、どれもどっこいどっこいかなっていうことであれば、②を中心とした考えでもいいのかなというふうに思ってます。はい、そんなこと思っていました。

委員長：ありがとうございます。はい、副委員長。

副委員長：はい。いいですか。例えば、アイデアとして聞いていただければと思うんですけど、ザイナーさんをお願いした場合に、例えば1個いいなるとなるとその横展開を作ってください可能性があるのかなって思ったんで、一つアイデアなんですけど、例えば筑波山を入れてくださいねとか、万博を入れてくださいねとか、島名を入れてくださいねっていうそれぞれ何個かのお題をお願いしてもいいのかなっていうのも、一つアイデアとして提案してみたく思いました。はい、ただその中でどういうふうなチョイスがいいって選択肢が増え過ぎてしまった場合は、逆に終息もちょっと難しいのかなっていうのも表裏一体なので、難しいとは思いますが。うん、なんか、はい、自分がこうデザインを想定した場合に偏ってしまうのもちょっと怖いなと思ったので、はい、アイデアとしてお伝えさせていただきました。以上です。

委員長：なるほど、ありがとうございました。多分今のアイデアというのは、この資料から絞るのではなくて私たちからこのお題をとってということですね。それも有りなのかな。

副委員長：何か、はい、すいません。ちょっと抽象的かもしれないんですけど、自分でもしゃべってて難しいなっていうのはあったんですけど。もし自分が、はい、お願いします。

委員：すいません。副委員長が言いたいことってあれですよ、そのデザインのコンセプトを私たちの上で幾つか出しませんかって話でよろしいですか。

副委員長：そうです。そうですね、はい。

委員：例えば、つくば市だから筑波山をモチーフにしてみたらどうか一案とか、島名小から分離したからちょっと島名小の少し校章のイメージを残したものを試してみようかとかっていうコンセプトをいくつかデザインとしてデザイナーさんに振ってみたらどうですかという話だと思ったんですけど、いかがでしょうか。

副委員長：はい、それでというかはいい、ありがとうございます。

委員：別に今の話議事録に書かなくていいので。

委員長：はい、ありがとうございます。ごめんなさい。多分ご発言いただいたことは議事録に全て載っていかれ、ですから美術1、2だったことも多分載ります。ちょっと私も衝撃で心拍数めっちゃ上がってますけれど、今戻しますね。戻したところでですね、先ほどそうですね今、ありがとうございます、アイデアいただきました。これ多分皆さんうなずいていただいている方もいらっしゃると思うんですけど、先ほど事務局からもありました、例えばお花、先ほど言った例えば、この校章案の中でお花がたくさんこう書かれてるデザインが見受けられるんですけど、そこで例えばあれですよ、お題として多分何かこう桜をイメージしてんのかな、なのでそう桜み

たいな、多分おっしゃってることは同じなのかなととらえさせていただいております。その方法もだからあるのかなということで、他の方どうでしょうね。副委員長非常に何だろう、口がへの字で眉が近く寄って難しい、なんか校名の時と皆さん全くもって違って、印象は私だけでしょうかね。何かありましたらミュートを外していただいても思うんですけど。委員あります。何か映りが今ね、ありそうな雰囲気だった。お願いいたします。

委員：全体的にすべての校章を見させてもらった上で、やはり多かったのがお花とかあとはケヤキとふくろう、結構本とか鉛筆等の文房具を書きつけてるお子さんたちが多かったなと感じました。あとは、万博小学校の方とかはやはりロケットとかも書きつけてる子がいたので、その中からやはり良いのを選んで、私たちの委員会から副委員長が先ほど言ったように、この辺うまくまとまらないんですけど、例えばケヤキのやつをモチーフしたのを1個とか上げてもいいのかなって感じました。ちなみに、私が良いと思ったのは、香取台小学校の就学児童4年生から6年生に書いてあった16番、ケヤキをモチーフにしたものとかはすてきだなって感じました。以上です。

委員長：ありがとうございます。資料多分1枚1枚ね、昨日事務局からいただいて、今日までの時間で見ていただいたんだなっていうのがすごく伝わりました。ありがとうございます。大丈夫です、ちゃんとまとまって伝わってましたので、ありがとうございます。今聞いておりますと、まず先ほどアイデアということで出していただいたのが、当初こちらからもお伝えさせていただきました、その例えばあれですね、何かテーマを決めてという部分、うまくこうまとめていただきましたけれども、筑波山ならばみたいな感じ。多分このご意見は多分皆さん特に反対もなく、最初に委員に②番でっていう形でも言っていただきました。そうすると、②か③かっていうその部分をそろそろこうちょっと絞っていったらいいのかなと思うん

ですね。③っていうのは結局、①と②両方の作成になってまして、今のやっぱりこの時間で聞いてると、そのパーツを切り取ってという何かちょっと流れでいきつつあるのかなあと見受け、私個人的にはあります。なので、ちょっとここをちょっと絞ってそろそろいけたらいいのかなというところで、皆さんよろしいでしょうかね。はい、そうするとあれかな、またご意見っていうと多分お時間も、ある方も手挙げていただけたらありがたいんですけども、ちょっと時間ね。難しい顔してます、大丈夫でしょうか。隠さないようにね。

委員：すいません。いいですか。はい、すいません。今回この意見って全部で272点の画像が出てるかと思うんですね。今回のアンケートの投票数を見ると587点なんですよ。で、それを考えたときに、何でしょう、その校章案を例えば、3点3点出していただいてさらにとかになると、もう票が割れて今回みたいに1位が確定しないじゃないですけど、すごく難しい結果が出るのかなというふうに思ったので、2番がいいのかなあと思いながら、難しい顔しました。以上です。

委員長：数字の中に生きている人ですよ、やっぱりね。すばらしい。もう私のもう全くない世界で。もうよかったです。難しいかもじゃなくて手を挙げていただけたらなおさらありがたいなと思った瞬間、ちょっと見逃せない表情してましたので、ありがとうございます。なるほど、そういうことなんです。272点あったんですね。すいません。そこまで、すいません。はい、587点ということで、素晴らしいですね。ただいまこういったご意見も出ました。だからそれは結局あれですよ、アンケートのときにそれほど数をまた出してしまうと分かれてしまうんじゃないかっていうので、ああいう表情の難しい顔だったわけですよ。はい、ありがとうございます。はい、ありがとうございます。では、お願いいたします。

委員：先ほど言われた案の確認なんですけど、モチーフをいくつか提示するっ

というアイデアには賛成で、それをパーツを選択してもらうって②の考え方にかぶせてモチーフを提示するって話なのか、或いはもうパーツはパーツでデザイナーにお任せで選んでいただくとして、それとは別に①のアプローチをこの案ということではなくてこういうモチーフのやつを選んでくださいという部分をデザイナーにお任せするのか、どちらかよくわからなかったので質問させていただきました。

委員長：ありがとうございます。事務局からお話しさせていただきます。

事務局：はい、事務局です。モチーフにつきましては、パーツ取りの方でモチーフをお願いしたときに何点にするかっていう部分に絡んでくるかなと思うんですね。ていうのは、1ヶ月ぐらいの時間ですので、その中でデザイナーさんが何点作ることができるかっていうことも考えなきゃいけないと思いますので、例えば3点お願いしますって全部の部品の中から取った上でこういうモチーフで3つ作ってくださいっていうプラスどれかを残したものにこのモチーフもっていうと多分、自分のを作りながら残したものにまたデザインを考えるっていうことに、ちょっと時間が取れるのかどうかっていうのがすごく心配な部分があるので、私としての考えですけども、モチーフっていうのは例えば部品取りの方だけにモチーフをお願いして、①番で残す部分についてはデザイナーさんにお任せするとかっていうことで考えないとデザイナーさんがそういう時間的余裕と制作できることが可能かっていうのはちょっとそこだけがちょっと心配かなと思います。以上です。

委員：はい、よくわかりました。ありがとうございます。

委員長：すいません、よくわからない、すいません投げかけ方をしてしまいました。ありがとうございます。ちょっと私の、委員ウケすぎです。私の方ですいません、ちょっと疑問に思ったことを今事務局に確認させていただきました。一応事務局から3点という数字が上がっていて、先ほどのご発言

いただいた中でちょっと私が疑問に思ったので、その3点は多分例えばであって、そのデザイナーさんも短い時間の中でこのタイトなスケジュールの中で3点上げられるかどうかというのはどうかなっていうところもあるので、その辺も例えばそのデザイナーさんに、うん、2点ならば2点っていうのもこれは私たちで決めていけばいいのか、準備委員会で決めていけばいいのかかなって思うところではあるんですね。多分その懸念されるやっぱり多ければ、それすべてがよかったものだとしたら本当票が割れちゃうかなっていう心配もありますよね。6点上がってきたものがすべて本当にどれも僅差なくいいものでってなると票って割れると思うので、その辺もやっぱりね考えていけたらと思うんですけど。

委員：よろしいですか。ただ、割と僅差になるようないいものが幾つも出てきたら、それはそれで僅差でもいいものがどれかを選ばれるわけだからいいんじゃないかなと私は思うんですけど。むしろちょっと心配なのは、今回手を挙げられた方がどういうバックグラウンドの方々なのかがよくわからないので、どのくらいのクオリティーのものが出てくるのかちょっとよくわからなくて、そこら辺はちょっと心配なところがあるかなあとは思います。ただ我々ができないので、その範囲内で受け入れるしかないかなとは思いますが。

委員長：はい、ありがとうございます。おっしゃってることは本当にわかります。私もできないので、もうね、いただいたものの中でっていう部分ではありますが、先ほどの、すいません私の投げかけ方もちょっと問題があり、ご質問いただいて事務局からご回答いただきましたけれども、その辺をちょっと含めまして、ちょっとまだそうですよね、まだミュート外されてない方とか外された方でももちろんですけど。

委員：すいません、ミュートを外してるんですけども。えっとですね、多分デザイナーさんがある程度仕事をされてる方でしたら、一般的に複数案を作

ることに慣れてらっしゃる。それ1個絞る方が辛いつて思うはずなので、3案ぐらい作ってくださいよつて言つた方が頼みやすい、受けやすいのかなと思つてます。で、今度ね、アンケート取る時に、例えば今お2人いらつしゃるので3案ずつ作つてもらつて、6案からアンケートを取るぐらいだと選ぶ方も楽しいし、最後準備委員会が苦勞するかもしれませんが、いろんな思ひを汲んだデザインも比較的数もあるので、これが10個になつちゃうと選ぶ方も大変なんですけど、3、3で6案ぐらい作れるといいのかなと個人的に思ひました。その6案のうち例えばですね、デザイナーさんが3案作るので、2案は②ベースでもう1案だけは何かこうね、我々のモチーフを盛り込んだものを作ってくださいとか、そこはいろいろ頼み方はこれから議論していけばいいと思ひうんですけれども。2人デザイナーさんいらつしゃるんで、3案ずつぐらい作ってくださいつてお願ひするのは妥当なんじゃないかなと個人的には思ひています。以上です。

委員長：ありがとうございます。本当に美術1か2ですか。何かデザイナーさんの気持ちまで察することができるのが、最近その意味が怖くなつてきましたけど私は。ありがとうございます。そうですね、はい。今ご意見もありました。なるほどですね。確かにね、選ぶ側からすると楽しみがあるのかもしれません。ありがとうございます。はいどうぞ。

委員：さきほどの意見に賛成で、私プロジェクトのロゴとかをデザイナーのところに発注して案を作つてもらつたことがあるんですけど、2回くらい。大体3つぐらいは案が出てきて、その中で選んでいくつていう。複数社とかに出すと、合計6案ぐらいやっぱり出てきてその中で選ぶといろいろ選びがいがあるし大体多分一つだけつていう、いろんなコンセプトがあるのでデザイナーも幾つか考えられて、この案にはこういうコンセプトを込めるとかいうので、むしろ言われた通り幾つかの案を出す方がデザイナーの方も悩まないで済むんじゃないかなというふうに思ひました。

委員長：ありがとうございます。はい、私もそうですね、なるほど。ありがとうございます。そうするとそうですね、最終的には6点ということでデザイナーさんをお願いする点数的には、お1人の方に3点のお二方なので6点っていうところは、ちょっと皆さんどうですかね、よろしいですか。ということではありがとうございます。はい、ではありがとうございます。えっと、賛成ですというストレートの言葉をいただきまして、皆さんも丸とね出していただいた方もいますので6点ということをお願いできればと思います。そのデザイナーさんの状況によって6点にならなかった場合には、そのところで決めていければと思うところですね、アンケートの方に向けていければと思うところです。そうすると、ちょっとまたあれですよ、戻りますけどそのパーツがまだあれですね、まだ意見の一致が至ってないところで、もうそろそろ、そろそろまた皆さんが賛成ですとかいえるようなまとめで、ちょっとまとめてもらえると非常にこちらとしては。

委員：そんな他の方からちょっとご意見をいただきたいので、はい。

委員長：なかなか今回ね、ミュート外して。副委員長待ってました、お願いいたします。

副委員長：はい。二つあって、一つは先ほどモチーフを提示するっていう話あったんですけど、ただおっしゃる通りモチーフを提示するっていうのはリスクもあると思ってて、我々が言った言葉に引っ張られてある意味もうデザインのある意味方向性を私たちが提示するってことになるんで、それを本当にその方がデザイナーさんなのであればインスピレーションがすごく大事なので、せっかくこんだけの絵がたくさんあるんだったらそれをバースと見た時の直感に従ってやってもらった方がいいかなっていうのが一つあります。その方がプロであればあるほど変な誘導をしない方がいいんじゃないかなっていうのが個人的にあります。それが1点目ですね。あともう1個はちょっとすごく難しい話なんですけど、この今回の図案の中に香取

台とか小学校のモチーフとしてふさわしくない勝手な解釈をされた由来みたいなのが、混ざってないかなっていうのがちょっといろいろ見てて思って、何か香取ってのは香取神社に由来しているので鳥居を入れてますとか何かいろいろ書いてあったり、ちょっと全部ちょっと見切れてないんですけど。何かこうパーツとして入れるとふさわしくないものがこの中に入っていないか、ちょっとそういう言い方して悪いのか、何か勝手な解釈でそういうもんだっていうことになってるものが入っていないかなってのはちょっと全部見切れてないんですけど、ちょっと気になったんで。香取っていうとか香取台っていうその地名の本当の由来を私は知らないんですけど、そんなのはマークなんだから気にしなくていやってのはあるんですけど、残るものなので何かちょっと気になったりしましたっていう、すいません、その二つです。

委員長：副委員長、ありがとうございます。皆さん、いろんな方向性からデザイナーさんの気持ちに立ってのご意見本当に何か、実はデザインできるんじゃないかなって疑わしい感じがするぐらいありがとうございます、ご意見いただいて。ちょっとすいません、私も副委員長の言葉でちょっと疑問に思いまして、事務局に質問なんですけれども、先ほど委員会の冒頭にこのデザインの募集の説明をいただいたときに、著作権に関係するものに関してはどういうお話がありました。今副委員長のおっしゃる通り明らかにそれを見てちょっとどうなのっていうものを除いて、デザイナーさんに資料を著作権に関係するものが多分除かれてお渡しする形なんでしょうか。まずそれが1点です。それと副委員長の今、最後のところですね。明らかにですね、明らかにという部分でこれこれっていう、その部分においてはもう取り除いてお渡しするんでしょうか、それとももう本当にすべてこのまんま上がってきたもの、そしてデザイナーさんにすべてを、それはどうなんでしょうか。

委員：今回手挙げられてるデザイナーの方がプロであれば、多分著作権の問題はよくわかっておられて、それに抵触するようなのが多分避けられるんじゃないかなと思います。手挙げられてる方がただ趣味の人っていうだけだとちょっとその辺り危ないかなと思いますけど、ただそれを我々が今除外して提示する必要はないんじゃないかなというふうには思います。出てきたものでたまたまそういうのが引っかかってたら、それはアンケートに出す前に削除するっていうので、それほど全体の中で多くないでしょうしそれなりにデザインをわかっておられる方は、そういうのを選ばないんじゃないかなといふうに思いました。

副委員長：すいません。私当初は著作権の問題じゃなかったんで、すいません、ちょっと何か論点がずれちゃったなと思ったんで。著作権の問題は全く気にしてなくて、由来としてふさわしくないもの、端的に言うとそれは絶対採用されないと思うんですけど、例えば小学生4、6年生の方も22番蚊取り線香とかまず採用されないと思うんですけど、絶対ここの香取台って蚊取り線香由来じゃないじゃないですか。これは多分本当ネタだと思うんであれなんですけど、あとはちょっと私わかんなかったんですけどふくろうはつくば市さんの多分鳥なんですかね。ちょっと私わかってないんで、ふくろうが結構出てるなと思って。あとヤタガラスは香取神社の鳥なんですかね。さっきちょっと調べたら、香取神社ヤタガラスの絵が出てきたんで、こういうのはふさわしい地元根差した由来のものとなるんでしょうかね。でもそれがウィキペディアで検索したらそうだったのでとか書いている方もいたので、ウィキペディアって正しくない情報もあったりするしなあといろいろ思ってたら、ちょっと本当にモチーフとして全部取り入れていいものばかりなのかなってちょっとわかんなかったっていう、そういうちょっと話なのですみません、著作権の話ではないです。ちょっと感覚的な話も混ざっちゃうんで。

委員長：ごめんなさい。ありがとうございます。多分ね、著作権は私が事務局への質問から入りまじってしまったことだと思うんですね。副委員長は決して著作権に関しては何もおっしゃってなかったのもので、その辺を多分ごめんなさい私が最後に副委員長の言葉をとということを使ってしまったんで、多分著作権等を持っているという部分で上がったと思います。今手挙げていらっしゃるでしょうか。

委員：手挙げてます。本来であれば、私がプロジェクトとかのロゴとかをデザイナーの会社に依頼した時とかは、このプロジェクトが何を志向しているプロジェクトで何を実現したいかとかそういうのをちゃんと説明して、そのイメージをデザイナーさんが膨らませてロゴを作られるんですね。本来であれば我々はこの香取台小学校がどんな小学校で何を期待するのかということデザイナーさんに提示した方がいいと思うんですけど、ただ、手を挙げられてる方々は、みんなこの小学校のエリアのこのあたりに住んでおられる方でこの小学校がどういう由来でどういう土地にあるかっていうことはおそらくわかっておられるでしょうから、そこら辺はご自分である程度小学校のイメージを作られて、それでデザインされるんじゃないかなとは思っています。

委員長：ありがとうございます。じゃあすいません、事務局からお願いします。

事務局：先ほどのお話もありましたので、その辺はこのお2人の方については学区内から募集してるんで保護者の方になっております。その方は今、お名前等はお伝えはできないんですが、我々で調べた限りは、デザインを専門職としているような方と見受けられましたので、著作権から何か含めてある意味をお話をした上で調べていただくことで、大丈夫かなと。大丈夫って言い方変ですけども、やっていただけるのかなと。その上で、当然お住まいなので少しは今回の通知文とかに経緯とかも載せましたのである程度ご存知かと思うんですが、説明の段階で補足的なものとか何か必要なこ

とがあればということで、コンタクトするときにお話ししようかなと考えております。今、プロであれば何点かはできるかなっていうお話もあったと思うんですが、その中で例えば、モチーフっていうものを出す場合と出さない場合っていうのはどうなのかって言いますと、今、画面共有させていただいてると思うんですが、学園の森につきましては、これは学区内の保護者のデザイナーの方がやっていたときに、同じように部品を全部お渡ししてモチーフは何もお話せずに、この中から作ってくださいっていう形で作ってあります。秀峰につきましては、そのようなデザイナーさんを選んでっていうわけではないんですが、作っていただく方に筑波山とかっていうこともお話したので、バックが筑波山が入ってるような形になってます。モチーフをお願いするとかこういう形になるのとモチーフをお願いしなければ、学森のような形にもなるっていうのが今回、みどりのにつきましてもモチーフの方はお願いはしてませんので、そのようなデザインになるかなと思います。こちらの一覧で出しているのが、一応市内の各他の学校のものがありますので、デザイナーさんの描き方によって3点ぐらいはっていうのは、例えば吾妻中のような形であるようなパターンで作られると、何個も作ることがすぐできるかどうかってことになるのと、秀峰みたいなものになれば当然時間がかかることもあるとは思いますが、プロの方であれば専門としているような方であれば、できるのは早いかなと思いますので、モチーフっていうことはまたどうするかも含めて考えていただければと思います。以上です。

委員長：はい、いかがでしょうか。そうすると、先ほどこちらから何かっていう部分ですけども、何か皆さん大丈夫ですか、ありますか。お願いいたします。

委員：すいません、私もデザインとか全然できないのでデザイナーの方にすごく過大に期待をしてしまっているところがあるんですけども、なのでモ

チーフとか例えば桜とか言わなくても、お花とかじゃなくてもいっぱい桜とか花とかあるなとかそういうことを汲み取って、3点ぐらいの中にどれか一つぐらいあるのかなあと、何か勝手に期待してしまっていて、3点ずつ6点もあればどれかいいのがあるのかなっていう気がしてきました。以上です。

委員長：では、副委員長お願いいたします。

副委員長：ちょっと私も先ほどの実際のやつ見たのもそうですけど、ちょっといろいろ調べたときに思ったのが、その校章っていうもののとらえ方が結構新しいものだとエンブレムみたいな形になってきたりとか、昔の校章はどっちかいうとこうなんかこう、学校だったらこういうところにつけるなんか花のマークをベースに中に学校名が入ってるみたいな、そういうものが結構これ古いながらの校章って意味でそうなんですけど。最近のものはどっちかという、エンブレムに近づいてるみたいなものが検索すると結構出てきたんで、そこら辺の方向性は提示すると多分それに近いものが出てくるんでしょうけど、何も提示しないと多分幅広くいろんなパターンのもので、もうその方のセンスと直感に従ったのが出てくると思うんで、それでよければもう本当に何も言わずに提示するのもあれですし、そこに込めたそういう図案の方向性もそうですけどエンブレム的なものにして欲しいのか、本当にこうマークみたいなものにして欲しいのか、その学校ってものが直感的にわかるものか、かっこよさではなくて、そういう何かこうデザインの何か形式みたいなものがもしこのメンバーの中で何かあればご提示しないと、もう校章ってものの幅がすごい広いんだなって逆にさっきの見て余計感じたんで、もうそこが結構何か提示の仕方そのデザイナーの方のね御年代とか、その校章をどうとらえてらっしゃるかによって大分デザインの方向性も変わるんだなっていう気がしてるんで、ちょっとそこだけ各委員の方のご意見があられたらちょっと聞きたい。私は個人的には、

新しい学校の方向性なので何かエンブレムみたいなものを私もイメージして、何かああいうのができたらカッコいいなあと個人的に思ってた。さっきの学森さんのものとか、ああいうのはすごくいいなって個人的には思うんですけど、何かサッカーチームみたいなのでカッコいいですね。ただ、古きよき子供たちが書いた、こういう本当に香取って書いて回り花みたいな、ああいう古いマークもあれはあれで直感的に覚えやすいじゃないですか、子供たちがそれこそ手でかけますから。そういうのもいいし、でももうそれって全く逆のものですよね。だから、そこでちょっと皆さんご意見いただきたいなっていう感じです。

委員長：はい、副委員長ありがとうございました。今の副委員長からご意見いただきたいですということで、形ですかね、皆さん、いかがでしょうか。すいません。私の意見はということでおっしゃっていただけたので、私の意見として私は正直全く古きよきものであっても本当にそのカッコいいマークであってほしいところでの、これっていう実はないんですね。私はデザイナーさんに、3点3点、6点お願いします、6点上がってきました、アンケート、もう保護者としてこれ選びます選ばせていただきましたっていう中でのもう本当にものなので、でもある意味やっぱ何ていうのかな、私は本当に委員の多分1とか2よりも本当にそこまでも至ってないくらいのもので何とも言えないんですけども。デザイナーさんってやっぱりそのね、考え方とかやっぱり視野とかっていうのは、私が想像している以上のところにいるので、本当に何ていうかな、こちらが言えばそれに合ったもの、全くなければっていう部分で多分作り上げてきていただけるのはプロの方だと思うんですね。ただやっぱり、今ここで準備委員会としては、やっぱりそのどういった形でという方向性を定めていかなければいけないので、こういった形でもいいので皆さんからもこだわらないんですで本当にいいと思います。ある方は副委員長のように、もう格好いいですね、

もう本当に何かっていう、これからの未来を時代をっていうでも子供たちにとっては書きやすいですね、よき時代のマークみたいな。そういったことを何か、あれかな。ごめんなさいね、もうちょっと1人ずつご意見いただけたらいいのかなっていうところで、手挙げられ、はい。

委員：すいません、私ばかりで。一応自分の好みというか意見を言わしていただくと、私今回応募するときに、自分が小学校の時から通った学校の全部の校章を調べてみてその学校はどれも昔風というか伝統的なタイプの校章でした。さっき見た学森とか秀峰とかのやつを見たらちょっとびっくりしたんですけど、自分が想像してた校章の範囲を超えていて。ただ、ここは秀峰とか学森の校章というかエンブレムは、あれはアメリカの学校とかそういうところがやってるタイプのことで、何もそこに媚びなくてもいいんじゃないかなと私は、日本の学校なんだから日本のこちらのスタイルを維持した方がいいんじゃないかなあと。あと個人的には、日本語入ってないのにアルファベットが入ってるのは、ちょっと抵抗を感じるなというふうには思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。ありがとうございました。はい、ミュート外されました。

委員：ごめんなさい、特に発言するつもりはなかったんですけど。そうですね、何かこうね、校章のパターンってどんなものがあるのかなって改めて考えてたときに、香取台っていう字をメインにそれをちょっと崩したようなパターンが一つ昔からありますよねと。島名小もそうですね、島っていう字を使って。あともう一つ、そのあとの時代に多分生まれてきたのが、幾何学模様、三角形とか丸とか四角をこううまいこと帳じり合わせて作った吾妻小パターン。そのあと、だんだん今に近づいてきてエンブレムタイプっていう、大きく何か三つぐらいトレンドがあるのかなって思って見てたんです、先ほどの事務局の図案を見ていて。そのうちどれがいいですか

っていう話を皆さんでするのがいいのか、どれもいいよねっていうことで、例えば3案をそれぞれ作ってもらうのかとかっていう方法は何か検討材料として考えられるのかなと思いました。この中でね、いややっぱりちょっとあんまり流行りに乗っかるのは駄目でしょうということであれば、幾何学模様とか香取台の何か言葉に関わるような表示を入れるっていう縛りをデザイナーさんに与えれば、多分それに沿って作ってもらえると思いますし、それを言わなければ、もうそのデザイナーさんがデザイナーさんなりに考えたあり得る校章を作ってくれると思うんで、我々の想像通りか想像を超えるか、どんなものが出てくるかわからないっていうことになるのかなと思います。はい、ちょっと思ったところをお話させていただきました。

委員長：ありがとうございます。本当にまとめていただいて。ちなみに委員はいかがですか。どんな感じですか。古き良き。

委員：私、美術1なんです。

委員長：終了いたします。ありがとうございました。ちょっと事務局に代わらせていただきます。

事務局：事務局です。1点ほど確認をさせていただければと思います。今までの皆さんのご意見をお伺いしていると、部品全部ここに出していただいた資料を全部デザイナーさんにお渡しして、3点ほどお2人の方に作っていただくってことがほぼ決まりのようで、頼み方が今まるっきり全部お願いするのかデザイン的にこういうっていうふうにするかっていうようなお話にするのか、今確認が取れるんですが。デザイナーさんに3点っていう個数については3点全部全くお願いするっていうことでよろしいですか。

委員長：はい、今事務局からまとめていただきました。よろしいですかということで、よろしいという方へお願い、はい、挙手ありがとうございます。手挙げていただいて。えっと、はい、ありがとうございます。では副委員長か

らすいません、お願いいたします。副委員長挙げてくださった、あげてないですよ。よろしくない。

副委員長：いやさっきの賛成の手が遅れたから、もう1回挙げています。

委員長：ごめんなさいね。

委員：はい、すみません。聞こえますか。よろしくお願ひします。すみません一言だけ。今の事務局からの方向で良いと思います。ただ、先ほどエンブレムの話が出たんですけど、集まってきた校章案の中にエンブレムタイプはないんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。ほとんど子供たちは子供らしく、あと親御さんが出していただいたのもすごくこう考えて作られてとてもいいなあと思うものがたくさんありますよね。そういう情報をデザイナーさんにお渡しして判断していただければいいんじゃないのかなあと思うので、エンブレムを入れてくださいとか入れないでくださいとか言わなくていいのかなと思いました。インスピレーションでデザイナーさんのね、感性にお任せしてはどうかなと思います。あとエンブレムを私が嫌いなわけではないんですけど、多分学森さんも秀峰さんも義務教育学校なんですよ。ですので、小中を含めた中学生までのものだし制服があるんですよ。中学生の女子とかですね、ブレザータイプだったりして制服に付けたりできるようなタイプなので、そこはちょっと小学生ですので、エンブレムかっこいいと思いますがエンブレムでなくてもいいのかなと思いました。以上です。

事務局：事務局です、よろしいですか。今のお話を大体聞いてまとめさせていただくというか考えとしては、デザイナーさんに全部お願いする時に3点なので3点のときにはデザイナーさんにはこの作っていただく校章というものについてはどういったところで使いますよってというお話をさせていただきますので、校舎のところに作ったり校旗としてなったり場合によっては体操服の左胸か右胸のところに印刷されるとか、そういうことで今後こ

ういうのは使われることになりますよってことをお話させていただいて、そのデザインについては全部デザイナーさんをお願いするっていう出来あがってきたものを頼むっていう形でも、皆さんが考えられてるのかなと思っただんですがいかがでしょうか。

委員長：はい、いかがでしょうか。指名制に変わりました。どうぞ。

委員：今事務局が言われた案でいいと思います。

委員長：ありがとうございます。挙手に変わりました。お願いいたします。

委員：はい。私も事務局の考え方がよく理解できますということで、ただ、実際に投票していただく際もこういうところでこの校章を使うんですっていうイメージがあれば多分それに見合ったというか、それをイメージして投票してくれるのかなと思いました。先ほどのお話にもあったように、ブレザーに合うんだったら何だっていうことでエンブレムって話になるような気もしたので、小学校としてどう使うのかっていうイメージを投票のときにも提示してあげるといいのかなというふうに思ってます。以上です。

委員長：はい、挙手ありがとうございます。どうぞ。

副委員長：すいません、ちょっとくだいようなんですけど、デザイナーさんにお渡しする資料の中で今回のデザイン案だけではなくて、私の1アイデアなんですけど、過去の校名案で廃案になったものもできれば入れていただければなって思ってます。理由としては、廃案になったものに関しても過去の歴史も含まれた校名案だったりするものもあったかと思うので、そういったものも今回デザインの方には反映されているものもあるかと思うので、ちょっと提案で挙げてみました。以上です。

委員：いいですか。ごめんなさい、今おっしゃったことの確認なんですけれども。過去の校名案というのは、今回最終的に残った5案以外の校名案をデザイナーさんに提示するって意味でよろしいでしょうか。

副委員長：そうですね、はい。私一個人の意見なんですけど。っていうのは何で

しょう、校名案は校名案で校章案は、バックグラウンドとかレガシーとかかっていう形の中でこういった歴史も反映されてるよっていうダブルミーニングとかトリプルミーニングで、デザインの中に隠れキャラ的に入ってるよっていうのもいいのかなって。デザインだけじゃなくて。

委員：は、おっしゃる意図は理解できました。それに対してはいいですか。

副委員長：はい、お願いします。

委員：ごめんなさい、あと委員長よろしいでしょうか。

委員長：もちろんです。待ってました。お願いします。

委員：これデザイナーさん大変じゃないですかっていう、正直なところで。5つの校名案に基づいた校章からデザインをまとめ上げるだけでも結構なボリュームな気がするので、そこまでお願いしなくてもいいんじゃないかなっていう気はします。はい。もしどうしても何かこうダブルミーニングとか何か意味を持たせたいのであれば、それこそ委員会としてこういうモチーフとかっていうことは伝えてあげた方がデザイナーさんがデザインしやすいんじゃないかなと思いました。個人的な意見ですが。

副委員長：ありがとうございます。

委員長：副委員長いかがですか。大丈夫ですか。

副委員長：大丈夫です。

委員長：ご納得いただけてますか。何かこう第4回になると皆さん表情で訴えることがすごく上手になってきてるので、ちょっと何かこのままさらっといけない状況、大丈夫ですか。

副委員長：大丈夫です。はい、はい、もう1個だけ言わせていただくと、こうなんだろう、自分としては広く浅くした上でデザインを作りたいなっていう人間なので、何でしょう、この辺っていう部類だけで決めてしまうと、こうなんだろうな、凝り固まった意見っていうかアイデアになりがちなので、自分としてはこう広く浅くしてた中での形を作る方が好きなので、ち

よっと提案してみました。以上です。

委員長：はい、貴重なご意見ありがとうございます。そうですね。はい、じゃちょっとすいません、事務局からすいません。

事務局：事務局です。そういったご意見で副委員長と委員からご意見いただいたと思いますので、今回お願いするデザイナーさんについては部品をお渡しすると同時にですね、市のホームページの方にはこの準備委員会の資料と今までの学区審議会の資料がありますので、これまでの経緯としてはこういうものがありますので場合によっては見ていただいてご参考とするようであれば見てくださいというお話をさしていただいて、それを参考にするかどうかはデザイナーさんにお任せっていう形でもよろしいかなと思うんですが、いかがですか。

副委員長：はい、ありがとうございます。

委員長：副委員長、大丈夫ですか。はい、いかがですか。ありがとうございます。大体この辺で、このいろいろすいません、ありがとうございます。長い時間にわたってのご意見、そろそろちょっと向かわせていただければと思うところが、はい、ちょっと皆さんで最終確認の意見のちょっとまとめをしていきたいと思うんですけども。流れ的に、デザイナーさんに3点3点でお願いしまして、っていうところは皆さん一致してると思います。そのあとですね、そのお願いの仕方というところにおいては、先ほど事務局からもご説明を度重なることにしていただきましたけれども、その辺を含めてデザイナーさんに伝えていただいてっていう形の流れでよろしかったでしょうか、というところです。大丈夫ですかね、私。ありがとうございます。大丈夫ですか。何かございますね。

委員：私、今日3つ目のオンライン会議で、一番難しいなと思って混乱してます。でも大丈夫です。

委員長：なんか毎回結構3つ目の会議で一番気合い入れてくださるんですよね。

本当にありがとうございます。なんかね、受験生のような鉛筆を構えての姿勢が見えたので、ちょっとこのままスルーできないなと思って。大丈夫ですかね、ありがとうございます。すいません、じゃあよろしいでしょうかね。今言ったように、デザイナーさんに資料3ですね、お渡ししていただいて、あと事務局から先ほどあったような説明を加えていただいて、校章案アンケートに向けてのデザインを考えていただくということで決めていきたいと思います。よろしいでしょうか。最後の挙手をお願いいたします。はい、ありがとうございました。はい、ということで、流れ的には決まりました、では次第のですね校章案のデザイン募集結果及び制作についてというところが今日の協議のところでも終わりました。この後なんですけども資料1スケジュールになりまして、見ていただきまして、いつも委員ごめんなさい、多分お仕事のご都合かな、いつも日にちとかのご質問だったりお気になさるところもあるんですけども、今回この資料1のスケジュール見ていただきますと、結構やっぱり年度末切り換えということで実際小学校の方も月曜日からまた登校ということで始まりますけども、そちらとちょっとやっぱりこう合わせるところで3月はですね継志式修了式という年度末における部分がございますので、(仮称)香取台小学校におきましては金曜日ということで曜日をちょっと中心にスケジュール組ませていただいております。今日第4回2月18日が終わろうとしまして、この後デザイン化という部分に入っていきます。3月10日までということになりましてそのあと、第5回委員会3月11日を予定しております、アンケートに関する調整ということになっています。第5回のスケジュール3月11日金曜日で予定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。では第5回3月11日の金曜日、あとお時間までまたすみません、毎回と言われるかと思うんですが確認の意味で今回と同じ18時30分開始ということで時間も今回と同じ時間での設定でよろしいで

しょうか。ありがとうございます。では第5回3月11日金曜日18時30分へと方法につきましては、また後日改めてという形でご案内させていただければと思います。

事務局：はい、すいません。事務局です。今回のこのスケジュールの方を引かせていただいておりますけれども、次の委員会の方は一応3月11日と設定させていただいております。一応この意図としては、やはり継志式修了式が3月18日24日と控えている中で、選択肢として3月11日か18日かといったところなんですけれども、11日に設定をすることによってその次のアンケートのところですね、3月16日からと設定させていただいておりますけど、そうすることによって継志式前にスタートを開始することができて、これまで6年生には校名案の公募からアンケートでも参加していただいていたので、6年生の方にもぜひ参加いただきたいというところで、3月11日に委員会を設定をさせていただいて、16日からアンケートを回収するというところでこの形をとらせていただいております。先ほど皆さんの方から3月11日でOKということでしたので、このスケジュールに則って行わせていただきたいと思っております。次回につきましてアンケートのところの調整になるんですけども、もしこのアンケートの期間はおそらくこの3月15、16日前後からスタートというところになると思うんですけども、例えば対象誰にアンケートを行うかの対象ですとかその方法ですね、そういったところを次回具体的に詰めていただきたいと思っております。この対象をどうするかとかあとアンケートの方法について何かご意見のある方がいらっしゃいましたら、何かご意見の方お伺いしたいと思うんですけどもいかがでしょうか。

委員長：副委員長、お願いいたします。

副委員長：事務局の方に質問なんですけど、例えば2つ選べるとしてその選択肢をチョイス、同じ番号は選んじゃ駄目よっていうのは選択可能かどうか

っていうことをお聞きできますか。

事務局：すいません、同じ番号を選んじゃ駄目よというのは、すいません。

副委員長：例えば6案あって1番と2番を選択するもしくは1番を同数、1番、1番で2票入れるっていうのを排除できるかどうか。

委員長：副委員長、ありがとうございます。すいません。ちょっとご説明お願いできますでしょうか。私は理解に至っておりません。ちょっとフリーズ状態。お願いいたします。

委員：はい。副委員長、それは複数選択をOKにするってことですか。

副委員長：そうです、そうです。

委員：何て言うか多分、事務局さんがどう答えるか一旦置いておいて、私なりに多分それをどう答えるか、どうとらえるかは多分この準備委員会で決めていいんだと思うんですけど、1人1票でいいんじゃないですか。最終的に決める校章って1つなので、これが中選挙区制だったら2人選んでもいいと思うんですけど、決める校章は皆さん1個でいいと思います。

副委員長：わかりました。集合地の中で同数が多い方がいいのかなと思ったので、はい。ブレインストーミングしたときに、散らした時を、なんて言ったらいいんだろうな、はい、なるべくその集合地の数をふやした方が偏りが少ない傾向があるのかなって思ったのでちょっと言ってみました。

委員長：ありがとうございます。すごくわかりました。副委員長、本当深いところまでありがとうございます。私のごめんなさい、能力が追いつかないために、副委員長のおっしゃりたいことを置き換えていただけるちょっとマシ的な人間を見つけておまして、任命させていただいております。ありがとうございます。はい、すいません。副委員長、大丈夫ですか。ありがとうございます。すごいですね、そういう考えね。あ、ごめんなさい。ちょっと個別に後で考えます。深いなと思って勉強になります。ありがとうございます。委員すいません、ありがとうございます。この後もフォローを

お願いいたします。どうですかね、今事務局からありました方法とかね。手挙げられていますか。

委員：別の話なんで、後でちょっと一つだけ質問させていただければそれでいいです。

委員長：わかりました。

事務局：すいません、事務局です。次回委員会の後すぐにアンケートを実施ということになるので、ある程度アンケートの素案ですとかそういったものを次回の委員会の中でご準備させていただこうと思っております。これまでも校名校章含めて、今まで対象としては今島名小学校に通っている児童そしてその保護者、もう一つ4月から新しく入っていらっしゃる新入学の児童とその保護者というところなんですけども、ここはこれまでと同様に踏襲という形で素案をつくらせていただいても問題ないでしょうか。

委員長：皆さんのうなずきから判断させていただいてよろしいですか。一斉に領いていただいて、はい。では今事務局がおっしゃっていただいたような形で作っていただけたらと思います。

事務局：あとすいません、事務局です。あと方法のところなんですけれども、また今まん防下であるところを21日から通常登校が開始をして、一応その3月のアンケート期間については通常登校を想定をして、今回の紙でという形を取らせていただくことでも問題ないでしょうか。電子申請といった方法もあるかと思うんですけれども、紙を基本として生徒さんに実際に書いていただく、アンケートにはなるんですけれども書いていただくような形を想定したもので問題なさそうでしょうか。

委員長：はい、副委員長大丈夫ですか。

副委員長：いや、新入学児童の方どうするのかなと思ったんで。すいません。

委員長：ありがとうございます。

事務局：すいません、事務局です。確かに新入学の方というところもあるので、

一応電子申請といったところも考えます。今想定していることとしては、やはり児童の方には学校の方で例えばポスターのようなものを貼って投票していただくといったところを想定をして、こちらの方は後でまた整理をしてお話させていただきます。すいません、次回までにご準備させていただきます。

委員長：はい、ありがとうございます。先ほど挙手いただいた内容をお願いします。

委員：はい。よろしいですか。今日、香取台小学校っていう名前が内定なのか内々定かしたんだと思うんですけど、最終決定は以前ご説明いただいた通り市議会での決定になると思うんですけど、我々はいつまでこの秘密を口外しないようにすればいいのかっていうことを確認しておきたかったんですけど。

委員長：言いたいですか。

委員：いやいや、娘が気にしています。

委員長：ああそうかそっか。もうね嬉しいね。やっぱね、気になるんだね。ちょっとお待ちください。

事務局：事務局です。この次に校章案の方をアンケートとりますので、その時には決定ではないですけども、準備委員会で選ばれましたというような形に記載になるかなとは思いますが。ただ、あくまでも最終決定ではない旨をうまく説明できるかわかりませんが、そういったことを含めて校章案を今度選んでいただきますので、この中で今名前を皆さんからアンケートをやって、その中で一番多かった香取台小っていうのが選ばれましたっていうくらいの書き方はできるかなとは考えています。

委員長：以上のように事務局から回答がありました。もうしばらくごめんなさい、自分だけの苦しみを味わっていただければと。

委員：はい、わかりました。

委員長：はい、すいません。大事なところですよ。ありがとうございます。他に皆さんからご意見とかお聞きしたいことや何かってところですね、ありましたら、はい、この場で。はい、お願いいたします。

委員：すいません。事務局の方にちょっと1点お願いがあるんですけども、デザイナーさんに校名案じゃない、校章案を提示していただく際に、今回私どもにいただいた資料のような形ですとサイズがまちまちであったり色が薄くて見えないものがありますので、その辺りをちょっとこうしっかり見えるような形でデザイナーさんに持って行っていただけるといいかなと思いましたので、その辺りよろしくをお願いいたします。以上です。

事務局：事務局です。今いただきいただきましたご意見をもとに、ちょっとこちらの方整理させていただいてデザイナーさんの方にお渡しさせていただきます。

委員長：はい、ありがとうございます。事務局ご回答ありがとうございます。他にございますか。はい、お願いします。

委員：はい。3月11日金曜日の次回5回目の委員会なんですけども、委員会はオンラインですかそれともまた市役所の方でやるような形でしょうか。

委員長：先ほど日時等を決めさせていただいたときに、開催方法については追って詳細をお知らせさせていただきますということでお伝えさせていただきました。まん防がちょっと開けて、でもわかりませんのでっていうところでもありますので。ちなみに何かご希望とかございますか。

委員：個人的なんですけど、もう会社でもオンラインばかりなんで私は会って話したいです。以上です。

委員長：はい、会って話したいですよ。何か私も寂しいですっていうところで、わかりました。この辺もねちょっとオンラインにも慣れてっていうところでね、オンラインでこのままっていう方もいれば、これでもね個人の事情によることだと思います。どちらか一方での開催方法ということでの

お願いになっていることで、ちょっとこの辺のところはまた皆さんにどういった形でかっていうご希望を取っていただければいいのか、ちょっとこの辺はまたすいません、お時間をいただいてというところで追ってご連絡させていただく形でよろしいでしょうか。申し訳ございません。委員の気持ち受け取りました。ありがとうございます。はい、ほかにございませんでしょうか。はい、お願いします。

委員：すいません。長引かせてしまっておめんなさい。急ぎではないんですけども、デザイナーさんをお願いする時に、後日お名前をいただくことが可能かどうかというのをもしよければ聞いてもらえたらなと思ってます。理由としてはですね、それで投票行動に影響させたくないののでできれば校章デザインが決まった後に、その方の名前を聞きたいんですけども、例えば準備委員会だよりなんかで実際に校章が決まった後にこんな思いでデザインしたんですみたいなことを、たよりの中で載せられたりしたら新設校の開校に向けての機運を高められるのかななんて、個人的に思っていました。なので、急ぎじゃないんですけどどこかでお名前をいただく機会があればいいなっていうふうに個人的に思っています。以上です。

事務局：事務局です。デザイナーさんをお願いするときには全部部品を全部お願いした上で、アンケートを取るためにはそのデザインの理由を多分つけなきゃいけないかなと思うので、理由については6点すべてを考えていただいて、それをアンケート取る時にはつけようかなとは考えています。その上で、当然ボランティアでやっていただく方なので、最後決定した場合の方についてはお名前の公表をどうしますかっていうのは確認はしようと思っております。

委員：はい、ありがとうございます。

委員長：はい、ありがとうございました。あと細かいことでもいいんですけど、第4回終わりますけれどもここまでで何か大丈夫ですか、皆さん。はい、

すいませんちょっと、皆さん頷きですごいはい、何かこうジェスチャーで読み取っていくんですけど、準備委員会の委員さんの方からはもう大丈夫ですという方は、すいません最後手挙げていただいてよろしいですか。もうごさいませんっていう、はい、大丈夫ですね。はい、わかりました、ありがとうございます。ではちょっと準備委員会の委員さんからのご意見はここで終わらせていただきまして、最後にちょっと事務局に代わらせていただきます。はい、お願いいたします。

事務局：事務局です。以前皆さんに、通学路のことでここに信号機を今考えますっていうようなお話をさせていただいたと思うんですが、その他として今画面共有させていただいてると思うんですが、上の赤丸のところ、赤丸の左上の茶色い土地になってるのが今の新しい学校の学校用地です。この上の赤丸のところに横断歩道をつけたいなど、必要かなと考えておりました、こちらを警察に今相談をしているところです。今回なぜ皆さんにお話させていただくかという、実はこの横断歩道について引く場合に今拡大したんですけども、手書きですいませんデザイン的に今赤く横断歩道とわかるように、こんな感じで引きたいなど警察に相談しているところなんです。赤丸にある横断歩道を移設するような形じゃないと上の手書きのような横断歩道がつかれないっていうようなご相談がありまして、そうすると今の赤丸の横断歩道を消すことについては、地域住民の方からご理解いただいているかどうかという確認が今警察から来ております。当然のように、香取台には区会がありませんので、どのようにこの移設をするかどうかについての、要は移設をしなければ上には書けないので、なくなることを皆さんから了承いただきたいと思うんですが、その了承の取り方っていうのはいい方法があるのかなっていうのをちょっと皆さんにお伺いできればと思ひまして、今日こちらを挙げさせていただきました。何かちょっと方法があればと思ひますので、ちょっとご意見をいただければな

と思います。よろしくお願いします。

委員長：作るこれあれですね、今ある横断歩道を、多分これあれですよ、実際に使うにあたってもちろん登下校の方が主ですけど、でもあるところがなくなるっていう部分において地域全体に変わる問題だと思うんですよ。なので、やっぱり今回の校章案だったり校名案じゃないですけども、やっぱり島名小に関わる方への周知は必要かなと私個人的にはまず思います。その方法としてはごめんなさい、ちょっとやはり学校のご協力を得てという形で、例えば文章を作ったの部分だったりとか、さらに先ほど事務局からあった地域でのついでということ置くのであれば、あれですよ地区ごとの、違うね、違うんだね。難しいね、ちょっとお待ちください。副委員長どうぞ。

副委員長：はい。発言します。ちょっと今のご質問の意図がわかるどころとわからないところがあったんですけど。横断歩道の移設について何かその道路交通法上か国土交通省かわからないですけど、その法律上の制約がなくてその移設自体は警察の判断でできるんだけど、その法律の問題ではなくその合意形成上のそののちのち問題にならないかどうかっていうそういうことのためにその警察さんが聞いているのか、その法律上そういうプロセスを経ないと移設できませんっていうことでおっしゃっているのかどちらなのかなっていう。

事務局：はい、事務局です。法律的なことではなく、今当然あるものを消さなきゃいけないことになるので、当然利用している市民の方の意見っていうものが必要になってくるっていうのは警察の判断です。道路交通法というわけではなく、個人的な意見ではないんですけども、今のあるところにプラスとして書いていただければ一番ありがたいかなと思ってたんですが、警察の判断としてはそう数が設置できないですので、新たにつくる場合には現在近いところをなくさないといけないっていうような見解なもんですか

ら、なくすにあたっては市民の方の理解っていうものがちゃんと得られますかっていう確認をしたっていうことがありますので、それを取る場合に、学校さん保護者さんであればメールかなんかってことあると思うんですが、区会がある場合には区会回覧とかでお知らせをして意見を募ることもできるかなと思うんですが、そういうことがないのでどういったふうに地域住民の意見を理解得られるような話をしていくっていうことができるのかなと思うのと、もし今先ほど手書きで書いたところに横断歩道はいらないんですっていうことであれば当然移設することがないので現状のままにはなりますけれども、その辺がどうなのかなと思います。

委員長：これちょっと非常に難しい問題だなと思うのは、ちょっと今思ったのは登下校班、やっぱりあるものがなくなったときに私やっぱりあれなんですよね、やっぱり香取台地区って非常にこう散歩してる方多いじゃないですか、だから今あるところの横断歩道ちょっと使ってた突然なくなったっていう部分においては、例えば廃品回収の時とかの、ごめんなさい教頭先生、区長さん通してとか廃品回収のお願いとかで区長さん宛にとということで案内文作ってるじゃないですか、例えば香取台だけのこれ問題じゃなくなってくると思うんですよね、横断歩道って地域全体に関わることなので、少なくともやっぱりその島名小を管轄の方々へのアナウンスって絶対必要かなと考えるんですね、まずね個人的に。で、そのアナウンスの方法どうしますか、なんだと思うんですけども。ごめんなさいね、ちょっとお待ちください。通ってる方に関しては、本当にその保護者通して学校からっていうのはもしかしたらできるかもしれないんですけど、例えばどうなんでしょうかね、区長さんとかにお願いして、例えば鬼ヶ窪とか香取台地区ではなくなりますけどここがなくなりますよっていう案内って必要なんじゃないかな。ちょっと待ってください、難しいよね。手挙げていらっしゃいます。お願いいたします。

委員：事務局に質問なんですけど、先ほどの説明の中で警察が移設しかと言っている理由がよくわからなくて、そこを確認したいんですけど、その理由って3つぐらい考えられるかなと思っていて、一つ目は道路交通法か何かで一定距離の間に横断歩道が二つあっちゃ駄目とかそういうルールがあるからなのか、或いは警察はあそこに二つ横断歩道ができることでトラフィックが停滞することを懸念しているのか、或いは三つ目の理由として横断歩道が一つ増えると横断歩道も時々白いのを塗り替えたりして維持管理にそれなりにお金が必要っていうことではないと思うんですけど、お金がかかるのでそのお金を懸念しているのか、理由によって我々アプローチの仕方が変わるのかなと思うんですけど、理由は何なんですか。

事務局：事務局です。すみません、そこまではまだ詳しくは聞いてないところがありまして、こちらにつけて欲しいという希望をまず警察と話したときにその話しかなかったものですから、おそらくですけど近くに横断歩道が何個もできた場合には、当然車が何台も何台も感覚的に止まっていくことを懸念されてる部分もあるのかどうかっていうことはあるのかどうかちょっと憶測でしかないんですけども、はっきりとした理由はちょっと確認してないのでそこはまた警察に確認してみようと思います。

委員：はい、ありがとうございます。よろしくお願いします。

委員長：お願いいたします。

委員：これすみません、ちょっと事務局に一点質問だったんですけども、さっきの横断歩道の位置というのはもともと例えば学校に渡るときに信号機も必要だねってお話も出てたかと思うんですけど、それとは別になのか、信号機を含めた横断歩道のことをおっしゃってるのか、それによって付け足すものが二個の横断歩道プラス信号機プラス横断歩道のものと、先ほどの横断歩道を足そうとしてるのかどちらなのかがわからなくて、ちょっとそれ1回伺いたいなと思ったんですけども。

事務局：はい、事務局です。信号機は信号機として別で先ほど書いてあるところよりも北上したところに現在公園があると思うんですけども、公園のところの駐車場が確かT字路になってたのかなと思うんですが、それよりも50メートルほど北側に信号機を設置してくださいということでお願いしております。それとはまた別として、ここにも横断歩道が必要かなと想定してお話を今警察にはしているところです。手書きで書いた部分についてはそちら側がいいのかなっていう感じで書きましたので、その上側なのか下側なのかはまだはっきりは決まっておりません。今のこの下の丸のところには横断歩道がありませんので、次に渡るのは信号機ができればその信号機のところまでいかないかと渡るところが今度はないので、その辺りがどうなのかなと想定して横断歩道がやっぱりここにも必要かなというお話をさしていただいているところです。

委員：ありがとうございます。私この横断歩道をよく渡る方としてどろんこ保育園の方をよく見るんですね、朝。なので、正直小学校だけという連絡とかそういう話ではないなと思うので、どうしたらいいんだろなっていうのを思いました。

委員長：そうなんですよね。そうなんですよね、だからその香取台小学校できるからその対象者だけではないんですよね。先ほども言ったその地域全体ですね。

委員：いいですか。

委員長：はい、お願いします。

委員：この話って、これ何をもって民主的なプロセスを踏みましたかっていうことかかっていうことでいいですよ。事務局の意図としては。

事務局：そうですね、先ほどのお話があって警察がどうしてっていうのはまだ意図的なことは確認は全部しきってないんですけども、上の丸のところにつける場合には、当然すぐ近くにある下を警察としては移設しないと上を

作るっていうことが難しいですよっていうお話だったんですね。当然下をなくすっていうことはある意味、利用している市民の方その地域の方の同意がないと難しいってような警察は多分考えがあると思いますので、警察としては皆さんは理解されてますかっていうのをこちらへ投げかけられたもんですから。

委員：はい、ありがとうございます。その上でなんですけれども、警察が言う民主的プロセスもよくはわからないところがあって、新図書館通りの学園線との交差点が急に右折レーンが出たりして、あれってどんなプロセスを踏んで作ったのかななんて思ったりもするんですが、一旦それは置いて、もしその民主的プロセスがこの地域の多数の方の同意を得るといふふうにとらえることができるのであれば、おそらくですね、この香取台の全戸の皆さんに情報が伝わる、ガレリアベールの皆さんに情報が伝わる、あと普段使ってるどろんこ保育園に伝わる、これで多分多数決って言えるんだと思うんですね。そこから出た意見が過半数としてOKですって言えばいいんだと思うんです。じゃあそれをどうやって今度証明するのかって話なんですけれども、全戸配布していついつまでにこれに対して文句がある方は意見くださいねって言って、意見が来るのを待つと、で待った意見が少なければ民主的な同意として移設OKですねって取られることができるのかなと思ったのが一つと、あとすごくね乱暴な言い方をすれば、市のホームページとかに載せておいていついつまでにこれに対して意見がある方はご意見くださいでやってしまっても、極論いいのかなと思ったりもしています。極論言いましたんで、そんな乱暴なことっていう意見お願いいたします。

委員長：個人的な感じだと、委員の極論はいつも刺さってきますので、意見とはここではないかなって感じは察するんですけれども。これ多分非常に難しいですよ。この場でっていうのがって思うんです。

委員：手挙げてます。

委員長：お願いします。

委員：すみません。ちょっと今決めてしまうのは無理じゃないのっていうのが本当に私も同じ意見なんですけど、今市の方がおっしゃった場所に横断歩道を作ろうが、ガレリアのすぐのところにある横断歩道を作ろうが、そこを通学路として子供が使うかどうかっていうのはちょっといろいろ考えなきゃいけないところだなと思っていて、というのは結局また立哨当番が出てくるのか出てこないかっていうのが保護者としてすごく大きな問題になってくると思うんですね。で、結局どの地区がそこを通るのかだったり、そういうのもすごく関わってきて立哨当番するんだったらそれだったらセブンの前の信号あるところ通らせるよっていう地区が出てくるとか、すごくこう今その横断歩道ありますかいりませんかっていうのを決めることもすごく難しいんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

事務局：わかりました。事務局です。こちらについては、今委員からのお話もありましたので、再度警察の方とつける場合の過程をもう一度よく確認し一応話した上で、今後設置をするかどうかっていうことも検証というかいろんなことを多角的にちょっといろんなところから聞いて」みながら、準備委員会をまだこれからどんどん通学路も含めて今後やっていきますので、その中でも含めてちょっと事務局としてまた再度現場を見ながらとか警察と相談しながらちょっと考えていこうと思います。

委員長：はい、お願いいたします。

委員：もしなんですけれど、必要なら学校ができる時みたいに地域住民説明会みたいなのをやるっていうのも一つの手なのかしらと思ったりはします。
はい、すみません。

事務局：事務局です。こちらについてももう少しですね、皆さんの意見、もしやる場合にはどういうふうなやり方っていうのもいろいろお伺いできたので、

警察と現場の道路整備とかもありますのでその担当課といろいろもつと細部を詰めてしっかりと考えていこうかと思います。ありがとうございます。

委員長：はい、すいません。私から最後副委員長ですね、現在も小学校に関してよく交通安全とか特にいつもお骨折りいただきましてありがとうございます。多分この香取台地区小学校に関しても、いろんな自分の中でのイメージというか膨らませていただいているところだったり、実際にお休み使って危険場所とか見回っていただいたりとかで何かこうでき上がってるんじゃないかなという勝手ながらの推測があります。今後なんですけども、副委員長からのごめんなさい、お聞きいただきましたそういったことについてご相談できる事務局はどちらになりますかという回答をちょっとこの場で皆さんに共有もさせていただければなと思いますので、すべて学務課窓口になりますので、こういった交通に関しては委員長である私を置かなくて結構ですので、学務課にえっと副委員長ご連絡をいただいて、ただそのご連絡いただいたことを皆さんでの共有ということでスラックの方での形でお知らせいただけたらと思います。ごめんなさい、突然身内というか、はい、委員の方への周知ということでこの場を使わせていただきました。副委員長いかがですか。

副委員長：はい、わかりました。ありがとうございます。今お話をお伺いしてて思ったんですけど、例えばどちらかというとはいろいろ設置をしていたくような立場でずっとこの何年間か携わらせていただいていたんですけど、ちょっとこの後どうなるかっていうのも含めてお話すると、あったものをなくした場合に、例えばそこで何か事故がありましたってなったときにすごくリスクが怖いなっていうか、その責任の所在がどこにあるのかわかっていうのをリスクヘッジでちょっと想定しましたので、あったものをなくすっていうのはすごく怖いと思ってます。あと、総体的には皆さんで相談して地域の重点箇所を洗い出して、今後詰めていければなと思っている

ので皆さん協力の方よろしく申し上げます。以上です。

委員長：すみません、ちょっと今回の協議ではなかったんですけども、もうすぐに関わってくるかと思えます。一番安心安全ということで子供たちの命に関わることになりますので、ちょっと力入れも違ってくるかなと思うんですが、今日のところは皆さんの今出たご意見等で一旦事務局に戻させていただいて、またちょっと警察の方との中で順次こちらにお知らせいただければと思います。教頭先生ごめんなさい、突然ちょっとどのような周知方がいいかなということで突然ごめんなさい、名指しの中どうですかという振ってしまいましてね、申し訳ありませんでした。ではすみません、最後事務局にかわらせていただきまして、今日の委員会は一旦議長の方を下がらせていただきます。ありがとうございました。事務局お願いいたします。

3 その他

事務局：はい、事務局です。委員長、進行ありがとうございました。皆さん大変お忙しい中、長時間にわたりありがとうございました。週明けにですね、今回皆さんにご協議いただいた校章案のデザインの作成の部分ですね、手を挙げていただいた2人の方に事務局の方からの依頼の手続きの方の準備をさせていただきます。また、次回委員会は3月11日ということで、そのあとアンケート控えておりますけれども、本日いただいたご意見等を含めてアンケートの素案等考えさせていただいて、こちらの委員会の方でご提示できるように準備いたしますので、引き続きよろしくようお願いいたします。以上で、今回の第4回の仮称香取台地区小学校準開校準備委員会を終わらせていただきます。本当に長時間にわたり皆さんありがとうございました。

4 閉会

